

## 2022（令和4）年度版函館市環境白書（案）への

### 事前意見に対する回答

NO	意見内容	回答部課	頁
1	【佐藤（隼）委員】		
①	ダンボールコンポストの普及活動について	環境推進課	1

白書 頁	P 9	回答部課	環境推進課
No.1	<p>ダンボールコンポストの普及活動について質問します。</p> <p>環境運動的な意味合いでコンポストを作るイベント自体はとても良い事だと思います。</p> <p>そこに例えとして「旅行事業などで、旅行先の写真を撮ってみんなに広めよう！」のように、「コンポストで作った堆肥で育てた〇〇の写真を共有しよう！」といった達成感の共有や、宣伝はどの程度行われているのでしょうか？</p> <p>各種品評会のようなイベントや、糠床の交換会など。似た性質の活動で習慣化の流れを真似ている部分などがありましたら記載がありますと、夏休みの自由研究のような一過性のイベントではない定着具合が伝わりやすくなります。</p>		

○ ダンボールコンポストにつきましては、生ごみの減量を目的に市としても普及啓発に努めており、希望者を募集のうえ「ダンボールコンポストメイト」として登録させていただき、必要な基材などのスターターキットを無料で提供しておりますほか、取り組むにあたってのノウハウなどを説明する講習会を開催しております。

また、取り組みを継続していただくため、堆肥化に取り組んだ方々の情報共有などを目的とした懇話会を開催しており、工夫した点や疑問点などを参加者同士で共有し、話し合う機会を提供しております。その際には講師が実際に育てた野菜などの植物をプランターごと持参して意見交換を行うほか、自らが作った堆肥を持参する参加者の方もおられます。

懇話会に参加した方へのアンケート調査では、「堆肥づくりの楽しみを分かち合いたい。」「困ったことの解決方法を知りたい。」といった目的で参加している方がそれぞれ半分近くを占めているほか、参加者の9割以上が今後も継続して堆肥づくりを行いたいと回答しております。堆肥化の取り組みにつきましては、ごみの減量にも寄与いたしますことから、今後につきましても、多くの市民の方にチャレンジしていただけるよう、普及啓発に努めて参りたいと考えております。